

第76回 全日本学生体操競技選手権大会 要 項

主催	全日本学生体操連盟
主管	東北・北海道学生体操連盟 関東学生体操連盟 東海・北信越学生体操連盟 関西学生体操連盟 九州学生体操連盟 三重県体操協会
後援	公益財団法人 日本体操協会 三重県 四日市市 三重県教育委員会 四日市市教育委員会 三重県スポーツ協会
協賛	セノー株式会社 京王観光株式会社 ミズノ株式会社 株式会社 ササキスポーツ アトムスポーツ・アトム株式会社 相好株式会社

1. 期間

- 令和4年 8月18日(木) セッティング・2部校監督会議・2部校本会場練習
19日(金) 2部校本会場練習、2部審判会議、開始式
2部校選手権 (個人・種目別)
1部校監督会議、1部校本会場練習、
20日(土) 2部校選手権 (団体・個人・種目別)、2部校表彰式
1部校本会場練習
21日(日) 1部審判会議・1部校本会場練習
1部校選手権 (団体・個人・種目別)
22日(月) 1部校選手権 (団体・個人・種目別)・カッティング・閉会式

2. 会場

会 場 四日市市総合体育館
所 在 地 〒510-0886
三重県四日市市日永東1丁目3-21
電話番号 059-348-4100

3. 参加資格

- (1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和4年度「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟（連盟登録）」を済ませた者。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟（連盟登録）」が4回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学（短期大学、専修学校、高等専門学校を含む）の者。
- (3) 令和4年度の1部校で東日本・西日本学生体操競技選手権大会に出場した大学。

※以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す。

なお、個人の出場枠は、令和3年度的全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する（以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す）。

2021年8月13日通達の「第75回全日本学生体操競技選手権大会における部別昇降等」の以下の内容（抜粋）を適用する。

1. 第75回全日本学生体操競技選手権大会（以下：全日本インカレ）における部別昇降
・1部校からの降格はなしとする。
・昇格については、2部最上位1校が1部へ昇格する。また、2部2位校の得点が1部男子11位校・女子9位校の得点を上回った場合、2部2位校も1部へ昇格する。
3. 関連事項
・来年度(2022年度)全日本インカレ1部校の「班編制」・「チーム個人選手の出場枠」については、原則として、今年度(2021年度)全日本インカレで獲得した得点により、上位校から順に割り当てる。
(特別な理由による棄権等が生じた場合、割り当て方法を別途検討することもある)

<男子>

・チーム	14校
令和3年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より	
・チーム個人選手	46名
1～3位校	各5名
4～6位校	各4名
7～9位校	各3名
10位校	2名
11位～12位校	各2名（1部棄権校）
13位～14位校	各2名（1部昇格校）

<女子>

・チーム	11校
令和3年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より	
・チーム個人選手	32名
1～3位校	各4名
4～7位校	各3名
8～10位校	各2名
11位校	各2名（1部昇格校）

(4) 令和4年度の2部校で東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人。

(以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す。)

<男子>

- ・ チーム 1 2校 (令和4年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校)
- ・ チーム個人選手 1 8名 (令和4年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)
1～3位校 各2名 4～6位校 各1名
- ・ 予選通過個人選手① 2名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の令和4年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)
- ・ 予選通過個人選手② 2 2名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和4年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各11名)

<女子>

- ・ チーム 8校 (令和4年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校)
 - ・ チーム個人選手 1 2名 (令和4年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)
1・2位校 各2名 3・4位校 各1名
 - ・ 予選通過個人選手① 2名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の令和4年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)
 - ・ 予選通過個人選手② 1 6名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和4年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名)
- ※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子においては予選通過個人選手②)を5名(5枠)増やすこととする。
- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手(女子は予選通過個人選手①)の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。
- ※ 同じ大学に所属する6名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。
- ※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手から大会申し込み最終締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。

4. 該当校及び参加人数

(1) チーム編成について

- ・ チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・ 1・2部校男女とも、1チームは最大6名(最小5名)とする。

(2) 該当校及び参加人数

- ・ 1 部校男子チーム 1 4 校 (令和 4 年度の東・西インカレの出場を要する)
- ・ 1 部校男子個人 4 6 名 (令和 3 年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)

1. 順天堂大学 5 名	8. 駒澤大学 3 名
2. 鹿屋体育大学 5 名	9. 九州共立大学 3 名
3. 日本体育大学 5 名	1 0. 慶應義塾大学 2 名
4. 筑波大学 4 名	1 1. 早稲田大学 2 名
5. 仙台大学 4 名	1 2. 日本大学 2 名
6. 福岡大学 4 名	1 3. 静岡産業大学 2 名 (1 部昇格校)
7. 東海大学 3 名	1 4. 大阪体育大学 2 名 (1 部昇格校)

- ・ 1 部校女子チーム 1 1 校 (令和 4 年度の東・西インカレの出場を要する)
- ・ 1 部校女子個人 3 2 名 (令和 3 年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)

1. 日本体育大学 4 名	7. 東京女子体育大学 3 名
2. 筑波大学 4 名	8. 仙台大学 2 名
3. 国士舘大学 4 名	9. 中京大学 2 名
4. 武庫川女子大学 3 名	1 0. 東海大学 2 名
5. 順天堂大学 3 名	1 1. 大阪体育大学 2 名 (1 部昇格校)
6. 日本女子体育大学 3 名	

- ・ 2 部校男子チーム 1 2 校 (令和 4 年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各 6 校)
- ・ 2 部校男子チーム個人選手 1 8 名 (令和 4 年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より)

東インカレ上位 6 校	西インカレ上位 6 校
1. 国士舘大学 2 名	1. 新潟経営大学 2 名
2. 明治大学 2 名	2. 中京大学 2 名
3. 国際武道大学 2 名	3. 関西大学 2 名
4. 立教大学 1 名	4. 東海大学九州 1 名
5. 法政大学 1 名	5. 至学館大学 1 名
6. 北翔大学 1 名	6. 富山大学 1 名

- ・ 2 部校男子予選通過個人選手① 2 名 (東・西インカレ個人総合選手権得点上位 2 名)

1. 柳沢 賢太	2. 奥田 隆生
----------	----------

- ・ 2 部校男子予選通過個人選手② 2 2 名 (東・西 各 1 1 名)

東インカレ上位 1 1 名	西インカレ上位 1 1 名
1. 大沼 鼓太郎 7. 正垣 広翔	1. 財部 雄太 7. 川端 伶
2. 日野 竜彦 8. 鶴岡 篤也	2. 福井 鈴生 8. 藤村 勇一郎
3. 宇野 裕弥 9. 春日 迪哉	3. 鳴海 龍二 9. 大保 龍平
4. 安福 亮 1 0. 中村 太一	4. 玉井 優 1 0. 加藤 将太
5. 平井 雄基 1 1. 安田 詠司	5. 佐藤 匠 1 1. 堀部 日南太
6. 大塚 海智	6. 古野 裕也

- ・ 2部校女子チーム 8校（令和4年度の東・西インカレ団体総合選手権上位4校）
- ・ 2部校女子チーム個人選手 12名（令和4年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より）

東インカレ上位4校

1. 駒澤大学 2名
2. 日本大学 2名
3. 明治大学 1名
4. 国際武道大学 1名

西インカレ上位4校

1. 静岡産業大学 2名
2. 福岡大学（個人枠返上）0名
3. 至学館大学 1名
4. 九州共立大学 1名

- ・ 2部校女子予選通過個人選手① 4名

（東・西インカレ個人総合選手権得点上位2名）（チーム個人選手枠の返上2名）

1. 山田 晴菜
2. 山下 星那
3. 杉山 圭奈
4. 北野 咲希

- ・ 2部校女子予選通過個人選手② 16名（東・西 各8名）

東インカレ上位8名

1. 佐藤 杏奈
2. 小坂 茉優子
3. 田村 七紗
4. 松嶋 瑞穂
5. 中川 智香子
6. 高橋 郁美
7. 加藤 綾乃
8. 佐々木 もも

西インカレ上位8名

1. 槌谷 彩里娑
2. 植村 結衣
3. 平居 莉那
4. 西川 真萌
5. 芳仲 志歩
6. 西村 菜緒
7. 荻根澤 遥
8. 濱上 みやび

5. 種目別選手権 決勝 について

本大会では実施しない。

6. 補欠について

- (1) 各チームの補欠人数は定めず、補欠登録も行わない（7. (2) (3) (4)）。なお、補欠として大会期間中に会場に入場できる者（IDが配布される者）は、各チーム2名までとする。
- (2) 2部校の予選通過個人選手についての補欠は認めない。

7. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始までに所定の用紙（メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙）で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で出場不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。

- (3) 競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、ID申請用紙に記載された選手名のみとなる。
- (4) 選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

8. 競技方法について

(1) 適用規則

- ・ FIG 競技規則に準ずる。

<男子>

2022年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

<女子>

2022年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) チーム編成について

- ・ チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・ 1・2部校男女とも、1チームは最大6名（最小5名）とする。

(3) 順位の決定

- ・ 団体総合選手権：各種目上位5名の得点の総合点で競う。
 - ・ 個人総合選手権：全種目の総合点で競う。
 - ・ 種目別選手権：各種目の得点で競う。男女ともに跳馬は1試技の得点とする。
- ※ 0点は棄権ではなく得点として扱う。
- ※ 新技申請については、8月18日（木）15時までに所定の用紙にて受付に提出すること。ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

(4) 班編成および開始種目

- ・ 1部校：班編成は令和3年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。
団体総合選手権の開始種目については、大会本部で抽選を行う。
- ・ 2部校：東・西インカレの成績順位により決定する。

(5) 器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する（詳細は競技部報に記載する）。

9. 表彰

<1部校>

- | | |
|---------------|---|
| (1) 団体総合選手権の部 | 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯
女子優勝校・・・高松宮妃記念杯
優勝旗、優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (3) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

<2部校>

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
|---------------|--------------------|

(2) 個人総合選手権の部 メダル1～3位、賞状1～8位

(3) 種目別選手権の部 メダル1～3位、賞状1～8位

※ 1・2部校とも、同点は同順位として表彰する。

10. 帯同審判員派遣について（1部校と2部校の帯同審判員は分ける）

(1) 本大会にチーム参加する大学は1種審判資格を有する下記の帯同審判員を派遣しなければならない。帯同審判員はそれぞれ、1部校または2部校の審判業務を行う。

<男子>

1部チーム出場校（14校）・・・2名

2部チーム出場校（12校）・・・2名

（可能な限りで構いませんので、カテゴリ2以上の審判員の派遣をお願い致します。）

<女子>

昨年度全日本インカレ1部1～6位校・・・・・・・・2名

昨年度全日本インカレ1部7位～1部昇格校・・・1名

2部チーム出場校（8校）・・・2名

(2) 帯同審判員に対する費用は、派遣する大学が全て負担しなければならない。

(3) 学生を帯同審判員として派遣することもできる。

(4) 審判員を派遣できない大学は40,000円をもって大会本部に依頼すること。

(5) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。

(6) 各大学指導者（部長、監督、コーチ）を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。

(7) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

(8) 帯同審判員を派遣できない大学があった場合、審判員が不足することが考えられる。そのため、派遣する審判員が2部校・1部校ともに審判業務をできる可能性がある場合は、参加申込書にその旨を記入してもらい、必要に応じて2部校・1部校両方の審判業務をお願いすることもある。なお、その際に生じる宿泊費等の費用（両方の審判業務を行うことによって追加される費用）は本部が負担する。

11. 補助役員について（1部校と2部校の補助役員は分ける）

(1) 男女共、本大会にチーム出場する大学（1部校・2部校）は2名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。

(2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,000円をもって大会本部に依頼すること。

(3) 派遣された補助役員は、それぞれ部別の競技運営に必要な業務を担当する。

（2部校派遣補助役員：セッティングから2部校競技終了まで）

（1部校派遣補助役員：8月20日（土）の1部校本会場練習からカッティングまで）

(4) 本部への補助役員変更の連絡は、8月11日（木）までとする。ただし、監督会議後に特別な理由で派遣不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。

1 2. 部別昇降について

男子1部13, 14位校、女子11位校が降格する。

また、下記の場合に1, 2部の入れ替えを行う。

- ・2部1位校の得点が1部の男子12位・女子10位の得点を上回った場合
 - ・2部2位校の得点が1部の男子11位・女子9位の得点を上回った場合
- 同点による部別昇降の決定(序列)については『同点順位について』を適用する。

1 3. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ(1組につき、個人4名以上は2名まで、3名以下は1名)、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。また部長、監督、主務は競技中の競技区域(部報参照)に入ることは出来ない。なお、音楽系のID保持者は音楽席のみで活動出来る。
また、段違い平行棒コーチ(女子)は各組ごとに、チームに1名、一大学3名以下の個人出場選手に1名とする。一大学4名以上の個人出場の場合は許可しない。
※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。
- (2) トレーナー申請を希望する大学はID申請書にあるトレーナーの欄に記入をし、本大会申し込み最終締め切り日までに提出すること。なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。
※ トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。
- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。
- (4) セッティングは2部校、カッティングは1部校の全員参加とする。1日目の本会場練習はセッティングに参加した2部校の大学のみ出来るものとする。参加できない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。
- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。
- (6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影申請を必要とする。申請の方法については、別途連絡する。

1 4. 参加申し込みについて

(1) 参加費

1チーム	70,000円
個人(1名につき)	14,000円
帯同審判委員依頼費(1名につき)	40,000円
補助役員依頼費(1名につき)	15,000円

※例年、徴収していた「保険料・救護費」については、参加費に含める。

- (2) HP上にある下記の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメール又は郵送にて申し込むこと。

- ・参加申込用紙

- ・ I D申請用紙
- ・ プログラム用コメント用紙

(3) 締め切り期日

1次締め切り

(参加申込用紙) 7月 4日 (月) 18時必着

最終締め切り

(I D申請用紙、

プログラム用コメント用紙) 7月 11日 (月) 18時必着

H P 部報掲載予定日 7月 25日 (月)

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

(4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名(男女別)で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167060

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：小賀坂 楓

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しない。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 (公財) 日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第76回体操競技全日本インカレ大会宛

F A X 03-6455-4038

E-mail gymgakurenn@yahoo.co.jp

H P <http://gymgakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 湯川 晋乃介 (女子) 金澤 涼

同点順位について

①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点と同順位として表彰する。
------------------------------	----------------

②通過及び部別昇降に関する順位付けについて

団 体 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 ・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） ・ すべての種目の得点と同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする。
個 人 総 合 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。 ・ すべての種目の得点と同点の場合は、Eスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はDスコアの合計点の高い者。
種 目 別 選 手 権	<ul style="list-style-type: none"> ・ Eスコアの高い者。 ・ それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。

※団体戦選手権の順位の「すべての種目の得点と同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする」については、前年度の大会に出場できなかった大学もあるため、今年度の大会に限って下記の対応とする。

- ・ チーム得点（各種目上位5名の得点）ですべての種目の得点と同点の場合は、下記の手順で順位付けを行う。
 - ①各種目上位4名の得点合計を算出し、チーム得点の比較と同様の手順を踏む。
 - ②さらにすべての種目の得点と同点の場合は、各種目上位3名、各種目上位2名、各種目上位1名の得点を比較する。
 - ③上記手順で同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする。